

■桐山襲 小説家。「パルチザン伝説」でデビュー、幻想に終わった新左翼革命の意義を一貫して問い続けて、早世した。

きりやまかさね

三大事件・・・1949＝ 東京都杉並区阿佐ヶ谷で生まれる。本名は古屋和男。

独立回復・・・1951＝ 2歳：

国連加盟・・・1956＝ 7歳：杉並第一小学校に入学、

インスタントラーメン 1958＝ 9歳：

安保闘争・・・1960＝11歳：病弱だった母が死去、以後、食事も自分で作るようになり、父に可愛がられて育つ。

全国総合計画1962＝13歳：日本大学第二中学校に入学、

大学紛争始・・・1965＝16歳：そのまま第二高等学校に進み、友人と同人誌「若い人」をつくり、短編3つを寄せるも、

いざなぎ景気1966＝17歳：大学受験の圧力で、わずか4号で終刊。

美濃部都知事1967＝18歳：

霞ヶ関ビル・・・1968＝19歳：卒業。早稲田大学第一文学部哲学科に入学、社青同解放派として、新左翼の学生運動に参加。

カントを読み、大江健三郎「芽むしり仔撃ち」に圧倒され、羽田闘争以後の「状況」を論文にし、

大阪万博・・・1970＝21歳：返還前夜の沖縄を旅し、決定的な影響を受け、

ドルショック・・・1971＝22歳：朴政権下の韓国を旅して、ルボ「夏のない半島」を書いたりして、

沖縄返還・・・1972＝23歳：卒業、東京都教育庁に就職し、静岡県土肥町の臨海学園に赴任。地域の反戦派の人たちと交流するなど、

組合の左派として活動、

クアランプール事件1975＝26歳：臨海学園の仕事を終え、東京勤務になる。三菱重工爆破事件のメンバー逮捕で、彼らが天皇を爆殺しようとしていたことを知り、衝撃を受ける。

田中角栄逮捕1976＝27歳：

JALハイジャック・・・1977＝28歳：解放派指導者中原一が革マル派によって殺害されたことにも衝撃、

貿易摩擦始・・・1980＝31歳：この年刊行された道浦母都子の歌集「無援の抒情」に触れて、自ら書かねばいけないと思うようになり、

中曽根内閣・・・1982＝33歳：*左翼による昭和天皇へのテロ計画を描いた「パルチザン伝説」が第19回文藝賞の候補になる。落選したが、

ディズニースト・・・1983＝34歳：*「文藝」に掲載されてデビュー。新聞各紙に書評が載った時点では右翼に動きはなかったが、天皇暗殺を扱った作品だと煽るような記事の（週刊新潮）が発売されると、その日のうちに「文藝」を発行する河出書房新社に右翼団体の車が大量して来襲し激しく抗議。公安警察が河出書房新社に来訪し、雑誌の回収、作者を明らかにし、謝罪すること、単行本化の中止を要求され、単行本化の中止を呑むが、作者の身元については口を割らなかったという。「パルチザン伝説」を刊行すべく、目くらましのため、「亡命地にて」を「早稲田文学」に発表、沖縄県で逃亡中と虚偽の情報を流す一方、有志による「パルチザン伝説刊行委員会」ができる。

・・・1984＝35歳：第三書館が、桐山の許可を取らずに勝手に同作を収録した「天皇アンソロジー1」を出版。対応策を考えた末、{日本図書新聞}に第三書館版は海賊版であることを公表し、作品社より改めて出版。{週刊新潮}はこれ以上の追撃は行わず、右翼による妨害もなかったが、第三書館は海賊版の刊行を続ける。連合赤軍のテロ事件やリンチ事件を扱った「スターバト・マーテル」を発表、芥川賞の候補になる。続けて、南方熊楠の神社合祀反対運動にからめて左翼の運動を書簡体で書いた「風のクロニクル」を発表、

ジャンボ機墜落1985＝36歳：芥川賞、野間文芸新人賞の候補になる。「旅芸人」「地下鉄の昭和」「戯曲 風のクロニクル」。{東京新聞}にエッセイ「バリケードの喪失と持続」を発表、

バブル始・・・1986＝37歳：編著で「国鉄を殺すな 国鉄労働者は発言する」、

竹下内閣・・・1987＝38歳：*傑作「聖なる夜 聖なる穴」、パルチザン伝説発表後の一連の動きを検証する「パルチザン伝説事件」のほか、「十四階の孤独」、「沖縄」の評論依頼など、

リクルート事件・・・1988＝39歳：「亜熱帯の涙」、

昭和天皇没・・・1989＝40歳：5年前の山谷告発の映画監督佐藤満夫刺殺、3年前の山谷争議団山岡強一射殺という右翼によるテロ事件を描いた「プレゼンテ」。代表作ともいえる「都市叙景断章」、短編「そのとき」ほか、もっとも力の漲った年で、日本文芸家協会にも入会。

ドイツ統一・・・1990＝41歳：本島長崎市長が右翼に銃撃される事件に対応して、天皇制にたいするメディア取材があり、日本文芸家協会への入会を拒否された永山則夫を強く支持する評論を発表するが、悪性リンパ腫を発病して日本医科大学付属第一病院に入院、「神殿レプリカ」後は、

ソ連崩壊・・・1991＝42歳：「S区夢幻抄」の一作のみで、癌の闘病の果てに早世した人の葬儀を描いた「未葬の時」の執筆を開始、

バブル崩壊・・・1992＝43歳：*完成させた直後、肺炎を併発して、教育庁職員のまま、没した。棺桶には、好きだったクラリネットそのものはダメなため、愛していたブラームスのクラリネット五重奏曲の楽譜が入れられたという。